



# 安土町史 統計資料編



## 町章

安土の「あ」の字を水に形どり土を描いてこれを囲み図案化したもので町の調和と発展を表している。

## ◆安土町町民憲章

### 一 安土は歴史のまち

美しい自然と、史跡をまもり、誇り高いまちをつくりましょう。

### 一 安土は明るいまち

良い風習を育て、心のふれ合う、明るいまちをつくりましょう。

### 一 安土は豊かなまち

仕事にはげみ、力を合わせ、豊かなまちをつくりましょう。

### 一 安土は健康なまち

からだを鍛え、心も正しい、健やかなまちをつくりましょう。

### 一 安土は伸びゆくまち

若い力を育て、英知をつちかい、伸びゆくまちをつくりましょう。



安土町長  
大林 宏

昭和29年、安土村と老蘇村が一つとなり、今日まで36年間、安土町として躍進を遂げてきました。

私は、安土町長としての在任期間はわずか数年ではありますが、昭和35年から平成10年までの38年余り、安土町の行政職員として共に歩んで参りました。

安土町は、恵まれた自然環境と数多くの歴史遺産に守られ、人々の暮らしを育んできました。

「安土の歴史は日本の歴史の縮図」とも呼ばれるように、古代より各時代を代表する国の史跡が町内の至る所に点在しています。近代においても安土町の歴史は日本経済の急成長とともに発展して参りました。

安土町が誕生した当時は、道路も整備されておらず河川も氾濫を繰り返し、健康・福祉といった施設もありませんでした。

しかし、誕生後の30年代には中学校や幼稚園の創立、安土中学校内務校舎の建設、学校給食の開始、有線放送の開局。40年代には母子保健センター開設による健康診断や各種検診、大中の湖の干拓事業の完成、さつき会館の完成。50年代にはJRの高架橋を始めとする道路や河川の改修整備、上水道の供用開始。60年代から平成にかけては安土駅周辺の総合整備。平成に入ってから保健センターやデイトサービスセンターの建設、図書館の完成、

圃場整備事業による新しい農業基盤の整備、公共下水道の供用開始、さらには文芸の郷の整備や国内外交流の推進、安土城跡・観音寺城跡の大規模発掘調査と整備といった「歴史と文化を活かしたまちづくり」を展開して参りました。

これらの施策や施設は、時代のニーズとともに充実され、今日に至っております。

このように安土町は、どの市町村と比較しても勝るとも劣らない素晴らしい町です。福祉と教育の充実、自然と環境の調和、歴史と文化の活用、農地基盤整備と下水道等の生活基盤整備と、どれをとっても町民に思いやりのある素晴らしい町であります。

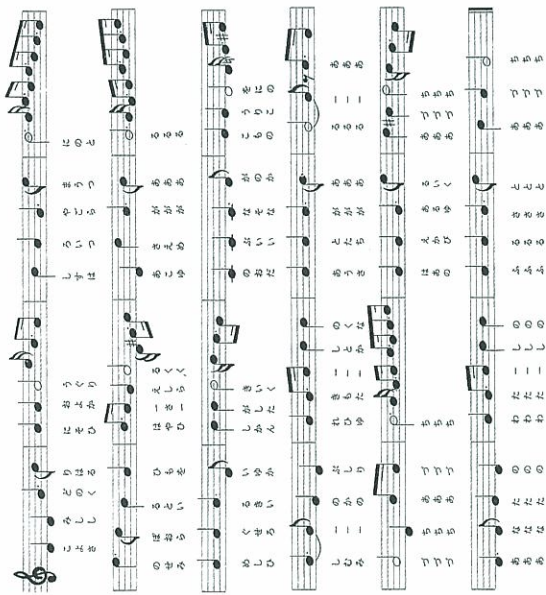
この安土町が既に終焉の時を迎えている平成の大合併の最後に自治体名から消え、町民の顔が互いに見えるあたたかいまちがなくなることは、安土町最後の町長として誠に残念でなりません。

この間、町民は合併に対し「民意を聞くべきだ」と町長リコール、議会リコールと凄まじい住民運動を続けられました。安土を愛する熱い思いをしっかりと歴史の中に残したと考えます。

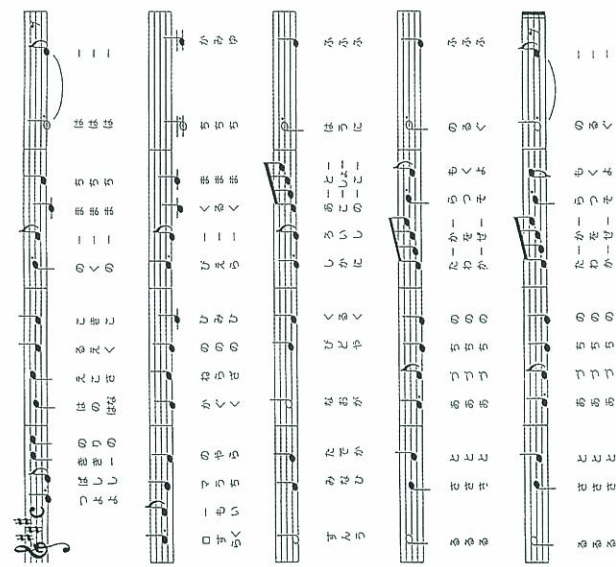
この安土町の素晴らしい心を刻まれ、安土町民であったことを誇りに、次世代の子どもたちに語り継いでいけたらと願っています。

## 明るい安土

市 英秀雄 (昭和59年)  
作詞 南沢 英 (昭和59年)  
作曲 南沢 英 (昭和59年)



編 川久 実 (平成3年)  
作詞 富川 久 (平成3年)  
作曲 富川 久 (平成3年)







◆歴代三役・教育長・議長・副議長

年	町三役			教育委員会		議会		議長	副議長
	町長	収入役	教育長	議長	副議長				
昭和29年	梅井清三郎(30.4.9)	西伊八郎(29.5.14~31.9.30)	辻井 伍三(29.5.10~31.9.30)	川村己之助	矢野 清助				
30	福本治三郎(30.4.23~36.12.19)	重野七右衛門(31.10.1~40.9.30)	西伊八郎(31.10.1~35.9.30)	岡田 國藏 善住 庄六 藤井 清七	松澤耕之助				
31	辻井 伍三(37.1.30~38.9.18)		内田 敏雄(35.10.1~39.7.31)	川村己之助	中澤平三郎				
32	北林謙之助(38.10.20~42.8.29)		藤井 清七	佐野常太郎	川村己之助				
33			藤井 清七	西村 滋	西村 滋				
34			藤井 清七	保和喜丸一	保和喜丸一				
35			高嶋万三郎	藤井清兵衛	藤井清兵衛				
36			木瀬市右衛門	中澤辰治郎	中澤辰治郎				
37			茶野徳三郎(41.10.14~47.9.11)	矢野 清助	藤井 清七				
38			岡田 伍郎	小杉 泰男	善住 博一				
39			藤井 清七	善住 博一	深尾源三郎				
40			岡田 伍郎	藤井 清七	高田助三郎				
41			岡田 伍郎	高嶋万三郎	木瀬市右衛門				
42			岡田 伍郎	木瀬市右衛門	岡田 伍郎				
43			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
44			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
45			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
46			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
47			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
48			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
49			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
50			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
51			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
52			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
53			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
54			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
55			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
56			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
57			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
58			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
59			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
60			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
61			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
62			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
63			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
平成元年			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
2			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
3			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
4			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
5			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
6			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
7			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
8			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
9			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
10			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
11			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
12			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
13			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
14			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
15			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
16			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
17			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
18			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
19			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
20			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
21			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				
22			岡田 伍郎	岡田 伍郎	岡田 伍郎				

篠原定信

中江文嗣

深尾増男

◆文化財

種類	名称	時代	所在地	所有者・管理者	指定年月日	備考
特史	安土城跡	戦国	下豊浦(東近江市)	梶見寺他(滋賀県)	大正15.10.20	昭和27.3.29特史指定
史	老蘇山古墳	古墳	東老蘇	梶見寺	昭和27.3.29	
史	大中の湖南遺跡	縄文~室町	大 中	梶見寺	昭和32.7.1	
史	観音寺城跡	室町	下豊浦・上豊浦	滋賀県	昭和48.4.14	昭和59.10.8追加指定
重建	浄厳院本堂	室町	下豊浦 上豊浦	浄厳院	明治36.4.15	昭和42保存修理報告書
重絵	綱本著色山王権現像	鎌倉	〃	〃	平成10.5.1	平成8 保存修理報告書
重彫	綱本著色阿彌陀如来坐像	平安	〃	〃	大正14.4.24	琵琶湖文化館寄託
重彫	厨子入銀造阿彌陀如来立像	鎌倉	〃	〃	明治44.8.9	琵琶湖文化館寄託
重工	厨子入銅製舍利塔	室町	〃	〃	明治44.8.9	琵琶湖文化館寄託
重絵	綱本著色阿彌陀聖衆来迎図	平安	〃	〃	平成9.6.30	平成8 年度保存修理 大阪市立美術館寄託 京都国立博物館報告
重彫	厨子入木造薬師如来坐像	〃	下豊浦	石部神社	明治44.8.9	
重建	梶見寺三重塔	室町	〃	梶見寺	明治34.3.27	
重建	梶見寺三王門	〃	〃	〃	明治36.4.15	
重彫	木造金剛二力士立像	〃	〃	〃	明治44.8.9	
重工	鉄 鐘	〃	〃	〃	大正9.4.15	
重工	旧 邸 家 住 宅	平安	常楽寺	普徳寺	昭和50.6.12	安土城考古博物館寄託 (近江風土記の丘内)
重建	木造千手観音立像	江戸	下豊浦	会勝寺	昭和43.4.25	
重彫	木造地藏菩薩立像	平安	〃	〃	明治44.8.9	琵琶湖文化館寄託
重彫	桑実寺本堂	室町	〃	〃	明治44.8.9	昭和60解体修理報告書
重建	紙本著色桑実寺縁起	〃	〃	〃	明治37.2.18	京都国立博物館寄託
重建	奥石神社本殿	桃山	東老蘇	奥石神社	明治43.4.20	昭和62年保存修理報告書
建	旧柳原学校校舎	明治	下豊浦	滋賀県	昭和31.2.10	(近江風土記の丘内)
建	綱本著色薬師十二神将像	室町	〃	新宮神社	平成16.4.16	琵琶湖文化館寄託
書	祇園浄土仏壇受經	奈良	慈恩寺	浄厳院	平成11.3.31	滋賀県立安土城考古博物館寄託
書	織田信長朱印状	桃山	〃	〃	平成5.3.31	大阪市立美術館寄託
書	大般若波羅密多經	室町	下豊浦	正禅寺	平成12.3.10	滋賀県立安土城考古博物館寄託
書	沙 彌 尊 神 社	江戸	常楽寺	沙弥尊神社	平成2.3.31	
建	旧安土巡査駐在所	明治	下豊浦	滋賀県	平成20.7.23	平成10年度保存修理
建	杉原氏庭園	江戸	東老蘇	個人	平成20.7.23	
工	石 灯 籠	鎌倉	常楽寺	沙弥尊神社	昭和47.3.30	栗東歴史民俗博物館寄託
工	綱本著色鶴無鬘經變相図	〃	慈恩寺	浄厳院	昭和47.3.30	
彫	木造釈迦如来立像(清凉寺式)	〃	〃	〃	昭和47.3.30	
工	宝篋印塔	南北朝	〃	〃	昭和47.3.30	
工	浄厳院不動堂	江戸	〃	〃	平成15.3.7	
建	浄厳院鐘楼	〃	〃	〃	平成15.3.7	
建	旧伊庭家住宅	大正	小 中	安土町	昭和55.9.11	
彫	木造薬師如来立像	鎌倉	上豊浦	時寺(現聖蹟)	昭和47.3.30	琵琶湖文化館寄託
絵	綱本著色釈迦十六善神像	室町	下豊浦	新宮神社	昭和47.3.30	安土城考古博物館寄託
絵	綱本著色織田信長像	江戸	〃	梶見寺	昭和48.3.10	
絵	安土城古図	〃	〃	〃	昭和48.3.10	
工	佐藤臣秀吉所用陣羽織	桃山	〃	〃	昭和47.3.30	
工	佐藤田信長所用陣羽織	〃	〃	〃	昭和47.3.30	
工	判 金	〃	〃	〃	昭和48.3.10	
工	綱本著色仏涅槃図	〃	〃	〃	昭和48.3.10	
工	木造弁財天女坐像	室町	桑実寺	西光寺	昭和48.3.10	
彫	木造阿彌陀三尊像	鎌倉	東老蘇	千光院	昭和48.3.30	
彫	木造阿彌陀如来立像	平安	西老蘇	福生寺	昭和48.3.10	
彫	木造地藏菩薩立像	〃	石 寺	東光寺	昭和48.3.10	
工	鉦 鼓	桃山	〃	〃	昭和48.3.30	
工	木造釈迦如来坐像	室町	〃	〃	昭和48.3.30	
建	教林坊裏、表門	江戸	〃	〃	昭和47.3.30	
建	教林坊庭園	桃山	〃	〃	昭和47.3.30	
名勝	石	室町	下豊浦	教林坊	平成10.9.9	平成11~14年度保存修理
有民	奥石神社境内社諏訪社本殿	桃山	〃	〃	平成10.9.9	
建	活津彦根神社本殿	江戸	〃	〃	平成10.9.9	
建	新宮神社大宮社	室町	〃	〃	昭和48.3.30	
建	新宮神社拝殿	江戸	〃	〃	平成15.3.7	平成19年度保存修理
建		桃山	〃	〃	平成15.3.7	
建		江戸	〃	〃	平成15.3.7	

(資料:教育委員会)

この一編の冊子には、安土のふるさとがある。  
決して語り尽くせることのない、  
一人ひとりの思い出がある。  
ページをめくるごとに、  
過ぎ去りし日のなつかしい安土に出逢える。  
ふるさと安土で、ひと時を過ごしたことを誇りに思い、  
この冊子を贈ります。

平成22年3月

# 安土の誇り

平成22(2010)年3月

発行：滋賀県安土町

〒521-1392 滋賀県蒲生郡安土町大字小中1番地8

TEL 0748-46-3141 (代表)

制作：(株)日本出版

平成22年3月20日をもって「安土」は自活体名からその名前を閉じます。  
この安土町用志の作成にあたりましては、多くの方々にご協力をいただきました、  
誠にありがとうございました。

町民の皆様におかれましては、安土町で育まれたことを誇りに、これからも  
ふるさと安土に想いを馳せて下さい。

なお、本誌の題字は 森本白汀 先生(下豊浦)にお願い致しました。

平成22年3月19日 安土町長 大林 宏

